

無線LANの詳細設定 目次

Step1～4の作業で、無線LAN接続に必要な設定は全て完了しました。これから先にご紹介する項目は、無線LANネットワークに接続できるパソコンの制限やパスワードの変更など、より高度なセキュリティについて説明します。必要に応じて、各種設定を行ってください。なお、設定いただく際は、モデムにLANケーブルを接続したパソコンで行います (P11参照)。



トリオモデム12Mをご使用のお客様は、右ページをご覧ください。
それ以外のモデムをご使用のお客様は、下記の該当項目をご覧ください。

▶ SSIDを変更する P.31

▶ 無線チャンネルを変更する P.33

▶ 無線LAN通信規格の設定を変更する P.35

▶ 無線LAN端末どうしの通信を制限する P.37

▶ 使用者を制限する (MACアドレスフィルタリングの設定) P.39

▶ 無線LANを暗号化する (WEPキーを利用する場合) P.43

▶ 無線LANを暗号化する (WPA-PSKを利用する場合) P.47

※トリオモデム3-G plus / BBモデム4-G / 光BBユニットをご利用のお客様が対象です。

▶ SSIDの隠蔽を設定する P.50

▶ 割当IPアドレスを設定する P.51

▶ 有線LANと無線LANの通信を制限する P.53

▶ ポート転送 (静的IPマスカレード) を設定する P.55

▶ UPnP機能を設定する P.57

▶ パスワードを変更する P.59

Trioモデム12Mの詳細設定 目次

Trioモデム 12Mは、設定手順や利用可能な機能が、その他のモデムと若干異なります。一部対応していない機能もありますので、あらかじめご了承ください。



▶ SSIDを変更する P.18

▶ 無線チャンネルを変更する P.61

▶ 無線LAN端末どうしの通信を制限する P.63

▶ 使用者を制限する(MACアドレスフィルタリングの設定) P.65

▶ 無線LANを暗号化する(WEPキーを利用する場合)..... P.18

▶ SSIDの隠蔽を設定する P.64

▶ 割当IPアドレスを設定する P.67

▶ ポート転送(静的IPマスカレード)を設定する P.69

▶ パスワードを変更する P.70

SSIDを変更する

SSIDを初期値のままご使用になると、ご自分の電波と他のお客様の電波の区別がつかない場合があります。

お客様固有のSSIDを設定することで、無線LANを安全にご利用いただくことが可能です。

※P14で、すでにSSIDの設定を行っている場合は、改めて設定を変更する必要はありません。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。

【光BBユニット<タイプA>の場合】

「詳細設定モード」をクリックし、左側に表示されたメニューから「無線設定」をクリックします。

2

表示された〔SSID〕欄を確認します。SSIDの初期値は「BBUser」に設定されています(BBU:大文字,ser:小文字)。

SSID欄の初期値「BBUser」を消して、新たに任意の文字を入力してください。

お持ちのモデムの種類によって、初期値が異なる場合があります。モデム用無線LANカードに本誌以外の別紙が同梱されているお客様は、そちらのご案内も必ずお読みください。



忘れずにメモしておこう！

・SSID



必ず下記の点にご注意のうえ、設定をお願いいたします。

- お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。
- 最大32文字までの半角英数字で設定してください。

無線チャンネルを変更する

無線LANの電波出力チャンネルを設定できます。初期値(自動)のままでも自動的に効率的な良いチャンネルを選択しますが、ノイズの影響などで通信が不安定な場合は、チャンネルを固定することで通信を安定させることができます。

通常のご利用においては、特に変更する必要はありません。

※パソコン用無線LANアダプタ側での設定は不要です。



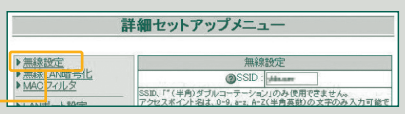
1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、**〔詳細設定モード〕**(または**〔詳細設定〕**)をクリックします。



〔光BBユニット<タイプA>の場合〕

〔詳細設定モード〕をクリックし、左側に表示されたメニューから**〔無線設定〕**をクリックします。

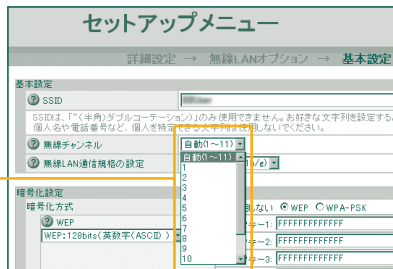


2

表示された**〔基本設定〕**画面の**〔無線チャンネル〕**欄をクリックして、チャンネルを選択します。



特に問題がない限り、初期値のまま
ご利用ください。

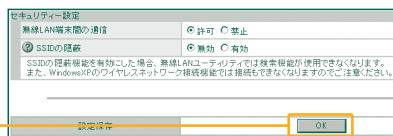


「12」～「14」を選択した場合、お使いのパソコン側の無線LANアダプタによっては、通信できない場合があります。「1」～「11」の数字を選択されることを推奨します。

※お使いのパソコンで「12」～「14」の数字が利用可能かどうかは、無線LANアダプタメーカーにお問い合わせください。

3

画面下の**〔OK〕**(または**〔保存〕**)をクリックします。



4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線チャンネルの変更は完了です！



無線LAN通信規格の設定を変更する

無線LANの通信規格にはIEEE802.11bとIEEE802.11gがあります。

両方の規格を混在させて使用することもできますが、
いずれかに固定させたい場合は下記手順にて設定してください。

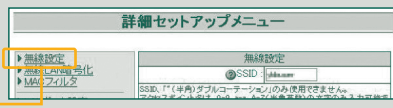


1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。

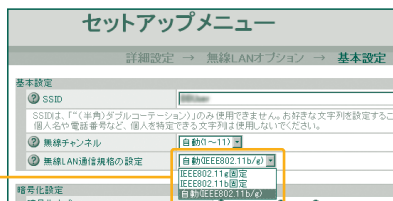


【光BBユニット<タイプA>の場合】
「詳細設定モード」をクリックし、左側に表示されたメニューから「無線設定」をクリックします。



2

表示された「基本設定」画面の(無線LAN通信規格の設定)欄から、どれか1つを選択します。



check

「自動 (IEEE802.11b/g)」を選択

パソコン側の無線LANアダプタの通信規格が、IEEE802.11b準拠 / IEEE802.11g準拠の、どちらの場合でも通信が可能です。通常はこのままでご利用いただけます。

「IEEE802.11g固定」を選択

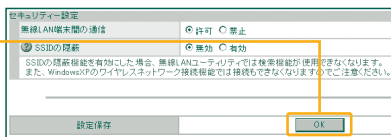
パソコン側の無線LANアダプタがIEEE802.11g準拠のみ通信が可能です。IEEE802.11bでの通信を制限します。IEEE802.11b/g混在時のスループット(実効速度)の低下を軽減できます。

「IEEE802.11b固定」を選択

パソコン側の無線LANアダプタがIEEE802.11b準拠 / IEEE802.11g準拠のどちらの場合でも通信が可能です。この場合はIEEE802.11bでの通信となります。

3

画面下の〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。



4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。

5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



6

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線LAN通信規格の設定の変更は完了です！

無線LAN端末どうしの通信を制限する

モデムと複数台のパソコンを無線LANで接続する場合、
パソコン間の通信を禁止できます。
初期値は「許可」に設定されています。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、**〔詳細設定モード〕**(または**〔詳細設定〕**)をクリックします。

【光BBユニット<タイプA>の場合】
「**〔詳細設定モード〕**」をクリックし、左側に表示されたメニューから**「無線設定」**をクリックします。

2

表示された「基本設定」画面の**〔無線LAN端末間の通信〕**欄で**〔禁止〕**をクリックします。

画面下の**〔OK〕**(または**〔保存〕**)をクリックします。

3

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている**〔再起動〕**をクリックします。



引き続き、「**〔詳細設定モード〕**」のその他の設定を行う場合は、ここで**〔再起動〕**をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。

4

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、**(OK)**をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



5

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線LAN端末ごとの通信の制限は完了です！



使用者を制限する(MACアドレスフィルタリングの設定)

モデムにパソコン側で使用される無線LANアダプタのMACアドレスを登録し、登録されていない無線LANアダプタからはネットワークに接続できないように設定します。最大8台の登録が可能です。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。

【光BBユニット<タイプA>の場合】

[詳細設定モード]をクリックし、左側に表示されたメニューから「無線設定」をクリックします。

2

左側に表示されたメニューから〔MACアドレスフィルタリング〕(または〔MACフィルタ〕)をクリックします。

[illegible]

光BBユニット<タイプA>をご利用の方はこのあとの手順が異なります。P42の「光BBユニット<タイプA>の場合」へ進んでください。
その他のモデムをご利用の方は、そのまま⑧へ進んでください。

3

「MACアドレスフィルタリング設定」画面が表示されます。

「MACアドレスフィルタリング設定一覧」の「機能の切替え」で「フィルタ有効」をクリックします。



4

「接続を許可する端末のMACアドレス」欄の「参照」をクリックします。



MACアドレスを直接入力する場合

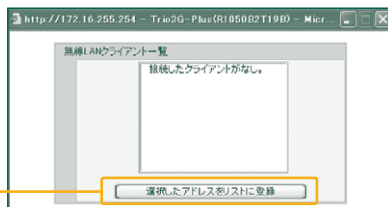
check

パソコンに無線LANアダプタが差し込まれていない場合や、複数の無線LANアダプタを設定する場合には、直接MACアドレスを入力する必要があります。その際には、「接続を許可する端末のMACアドレス」欄に、ご利用の無線LANアダプタのMACアドレスを入力してください。その後、手順⑥へ進みます。

5

「無線LANクライアント一覧」画面が表示されます。

表示されたクライアントから接続を制限したい無線LANアダプタをクリックして、「選択したアドレスをリストに登録」をクリックします。



6

登録したMACアドレスが「接続を許可する端末のMACアドレス」の一覧に追加されます。

7

登録したMACアドレスの〔有効／無効〕の〔▼〕をクリックして〔有効〕を選択します。



8

MACアドレスをすべて設定したら、〔OK〕をクリックします。



9

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



10

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



11

「セッアップメニュー」画面に戻ります。

以上で使用者の制限の設定は完了です！

光BBユニット<タイプA>の場合

P39の手順②に引きつづき、設定を行ってください。

3

「MACフィルタリング設定」で[有効]をクリックし、ご利用の無線LANアダプタのMACアドレスを「MACアドレス」欄に入力します。



無線LANアダプタ、無線LAN内蔵パソコンなどの無線LAN通信機器のMACアドレスの確認方法については、製品に付属の説明書を参照してください。

4

「無線接続制限」の[許可]をクリックし、[追加]をクリックします。

追加したMACアドレスは、「ステーションリスト」欄に表示されます。



複数のパソコンで無線LANを利用するときは手順③～④をくり返して、無線LANアダプタのMACアドレスを登録します。

5

MACアドレスをすべて設定したら、[保存] (または[OK]) をクリックします。
このあとは、P41の手順⑨からをご参照ください。

ヒント



【MACアドレスによる使用制限の解除】

「MACフィルタリング設定」画面で「無効」を選択してください。

【登録したMACアドレスの修正／削除】

ステーションリストから修正／削除するMACアドレスを選択した後、MACアドレスを修正し、[修正] をクリックします。削除する場合は [削除] をクリックします。